

第 609 回 : Digital Bodleian を使ってみる (MS)

みなさんこんにちは。火曜日担当の MS です。前は NDL を用いて日本の古典籍資料を調べたので、今回はオックスフォード大学図書館の資料のうち、デジタル化された様々な地域の写本、初期刊本や手記などをオンライン上で閲覧できる Digital Bodleian というサービスをご紹介します (The Bodleian Libraries, 2020)。

具体的な活用法を、普段私が使っている方法をもとにご紹介します。私の研究対象は The Canterbury Tales という 15 世紀の作品です。80 を超える写本が現存しているものの、作者である Geoffrey Chaucer 直筆のオリジナルは現存していません (Manly and Rickert, 1940)。そのため、作品に収録されている物語の一つの Wife of Bath's Prologue をもとに系統学的分析を行った Barbrook et al (1998) のように、写本間の系統関係を明らかにすることで、オリジナルがどういったものかを再現する試みがされてきました (Barbrook et al に対する方法論的批判は Caetlidge 2001 を参照のこと)。

これは、良くも悪くも写本の数だけ異なる読みができることを意味しているといえます。写本間の差異について、General Prologue の冒頭をもとに考えてみましょう。Digital Bodleian のウェブサイトでは The Canterbury Tales を検索してみると、Bodleian 686、Hatton そして Douce 218 などの写本がヒットします。それぞれの写本について、自分で転写したものを以下に提示します。なお、転写の際 Long s は s に直しています。内容的には同一ですが、現代英語で "when"、"april"、そして "sweet" を意味する

語について、異なる綴りが認められます。

“when that april with his showres swote”
(Bodleian 686, 1r)

“whan that aprill with his showres swote”
(Hatton, 1r)

“whan that aprile with his showres sote”
(Douce 218, a2r)

なぜこうした写本間の異同が生じるのでしょうか。大前提として、当時の英語に標準化された綴りが存在しなかったことがあるでしょう (cf. Milroy, 2008: 157)。加えて、写字生の態度も様々で、正確に書き写すこともあれば、自分の方言に直すこともあるうえ、果てには自分で新しい表現を作り出したりすることもあったとされます (cf. Benskin et al., 2024, General Introduction 3.1.3)。General Prologue の写本間の差異に関心を持たれた方は、この箇所の写本全てとその転写が収録されている CD-ROM (Solopova, 2000) があるので、一度確認してみたいかがでしょうか。それでは。

(1216 字)

参考文献

Barbrook, Adrian C., Howe, Christopher J., Norman Blake, and Peter Robinson. 1998. “The Phylogeny of The Canterbury Tales”. *Nature* (394). 839.

Benskin, Michael, Margaret Laing, Vasilis Karaiskos and Keith Williamson. 2024. *An Electronic Version of A Linguistic Atlas of Late Mediaeval English (Version 2.0)*. Edinburgh: The Angus McIntosh Centre for

第 609 回 : Digital Bodleian を使ってみる (MS)

Historical Linguistics. Retrieved on December 23, 2025, from <http://amc.ppls.ed.ac.uk/elalme/>.

Caetlidge, Neil. 2001. "THE CANTERBURY TALES" AND CLADISTICS". Neuphilologische Mitteilungen (102) 2. 135-150.

Chaucer, Geoffrey. 1430s. Bodleian Library MS. Bodl. 686. Digital Bodleian. Retrieved on December 23, 2025, from <https://digital.bodleian.ox.ac.uk/objects/91325421-201e-4b4b-9fbb-4df91fb81e8d/>

Chaucer, Geoffrey. 1450s. Bodleian Library MS. Hatton donat. 1. Digital Bodleian. Retrieved on December 23, 2025, from <https://digital.bodleian.ox.ac.uk/objects/1a33982d-c856-473d-a751-1e2c2d1f5ee2/>.

Chaucer, Geoffrey and Richard Pynson. 1491-1492. Bodleian Library Douce 218. Digital Bodleian. Retrieved on December 23, 2025, from <https://digital.bodleian.ox.ac.uk/objects/b793b75b-1888-4f3c-8031-437cd0b9fae2/>

Manly, John M. and Edith Rickert. 1940. The Text of The Canterbury Tales. Chicago: The University of Chicago Press.

Milroy, James. 2008. "3 - MIDDLE ENGLISH DIALECTOLOGY" in Norman Blake (ed.) The Cambridge History of the English Language. Cambridge: Cambridge University Press. 156-206.

Solopova, Elizabeth (ed). 2000. The General Prologue on CD-ROM.

Cambridge: Cambridge University Press.

The Bodleian Libraries. 2020. Digital Bodleian. Retrieved on December 23, 2025, from <https://digital.bodleian.ox.ac.uk/>.